
Igreja da Misericórdia de Leiria

について

ミゼリコルディア・デ・レイリア教会 (Igreja da Misericórdia de Leiria)

ミゼリコルディア・デ・レイリアは、1544年に創設された施設で、当時は、収容施設 [サント・エステヴァン (Santo Estêvão)、ノッサ・セニョーラ・ダ・グラサ (Nossa Senhora da Graça)、サン・ブラス (São Brás)] や、病院 [ホスピタル・デ・ノッサ・セニョーラ・デ・トドス・オス・サントス (Hospital de Nossa Senhora de Todos os Santos)、テセロエス (Tecalões)、エスピリト・サント (Espírito Santo)、フェレイロス (Ferreiros)、ポルト・コヴォ (Porto Covo)、アラバルデ (Arrabalde)]、ハンセン病療養施設 [サント・アンドレ (Santo André)] が付属施設として町の中に併設されていました。

これらの施設の本部に選ばれた場所は、旧ユダヤ人地区だったため、旧ユダヤ教会のあった場所に建てられたと言う人もいます。また、1627～1636年に、ドン・ディニス・デ・メロ・エ・カストロ (Dom Dinis de Melo e Castro) 司教によって付属病院の建設が行われ、この病院は、1800年まで営業していました。

その後、18世紀に、ドン・アルヴァロ・デ・アブランシェス・エ・ノローニャ (Dom Álvaro de Abranches e Noronha) 司教によって再建が行われ、それが現在の教会の建物となっています。質素な外観をもち、単身廊というシンプルな構造を備えたこのマヌエル様式の教会は、レイリアの歴史的な中心地にあり、現在は、文化的な用途に使用されるスペースとして市議会 (Municipal Council) の管理下に置かれています。

問い合わせ先

Rua Miguel Bombarda 2400-190 Leiria
